株式会社日本医薬総合研究所

2025 年 1 月 30 日
株式会社日本医薬総合研究所

多汗症治療薬市場における処方箋解析

手掌多汗症は冬季における患者の減少率が低く、腋窩多汗症と異なり 29 歳以下の患者において処方が拡大していることが確認されました。

日本調剤グループで情報提供・コンサルティング事業を行う株式会社日本医薬総合研究所（本社：東京都港区、代表取締役社長：橋爪 敦弘、以下：日本医薬総合研究所）は、独自に運用する「月次処方データサービス RI-CORE」をもとに、医薬品市場の処方傾向変化を分析してきました。2023 年 9 月のレポートに続き、多汗症治療薬についての処方動向の分析を行いましたのでお知らせいたします。過去の多汗症解析レポートは以下 URL からご確認ください。
https://www.jpmedri.co.jp/20230920-001/

対象期間：2022 年 1 月～2024 年 12 月
対象薬剤：エクロックゲル、ラピフォートワイプ、アポハイドローション
使用データ：月次処方データサービス RI-CORE

1. 多汗症治療薬について

解析対象である各薬剤の基本情報を下記の表に示します。

製品名	効能効果	剤型	薬価収載日	製造販売会社
エクロックゲル 5%	原発性腋窩多汗症	ゲル	2020 年 11 月	科研製薬
ラピフォートワイプ 2.5%	原発性腋窩多汗症	薬液を含浸させた不織布	2022 年 5 月	マルホ
アポハイドローション 20%	原発性手掌多汗症	液	2023 年 6 月	久光製薬

※ 腋窩多汗症、手掌多汗症と各薬剤で適応症が異なりますが、多汗症市場としてまとめて解析を行っている部分もありますので、ご注意ください。

集計の定義について下記の表に示します。

処方箋数	対象薬剤の処方箋の数
減少率	（処方箋の最大数 - 最小数） / 最大数×100
患者数	対象薬剤を処方されたすべての患者の人数 （同一患者が対象薬剤を複数回処方された場合はそれぞれ 1 人として集計）

Copyright © 株式会社日本医薬総合研究所 All Rights Reserved.

2.　多汗症治療薬　処方箋数の推移

まず、多汗症治療薬における処方箋数の時系列推移を Fig.1 に示します。処方箋数（■合計）は、初夏（6 月から 7 月）にピークを持つ季節変動を示しながら年々増加しており、多汗症市場が大きく拡大していることがわかります。薬剤ごとの季節変動の分析として 2024 年夏以降におけるピークからの減少率を算出したところ、■エクロック 49 %、■ラピフォート 60%、■アポハイド 31%となり、特にアポハイドの適応症である手掌多汗症治療においては、季節による変動が少ないことがわかりました。

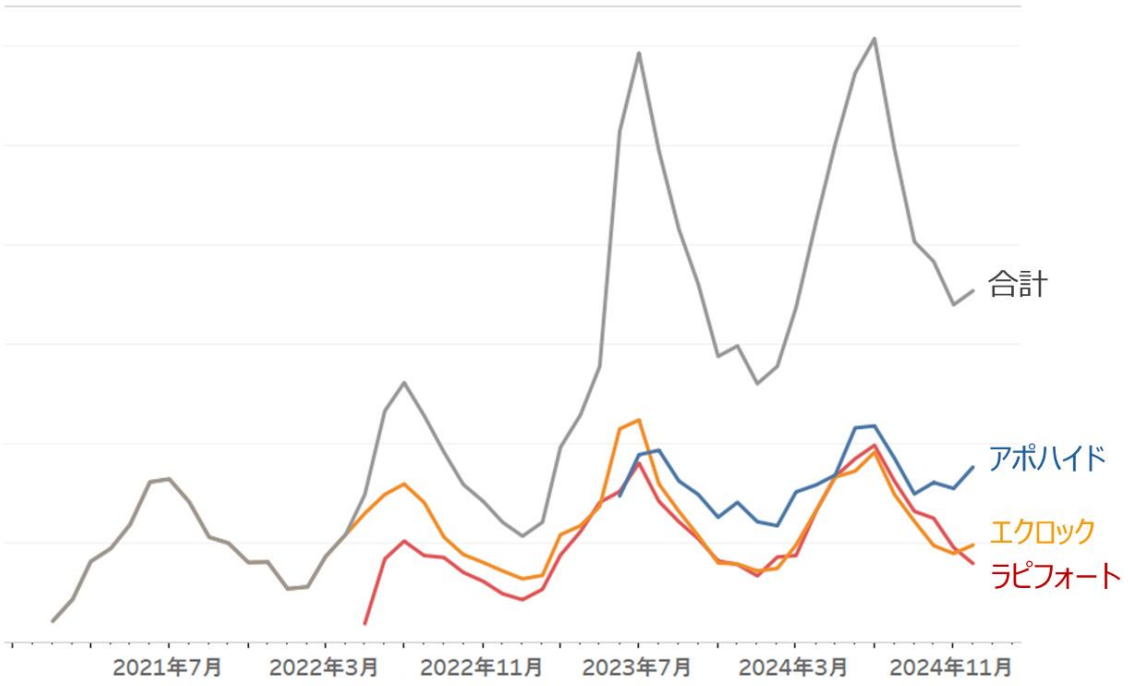


Fig.1 多汗症治療薬の処方数の推移

Copyright © 株式会社日本医薬総合研究所 All Rights Reserved.

3.　多汗症治療薬　患者の男女比・年齢分布

次に、多汗症治療患者における年齢構成比、及び、男女比を確認しました。2022 年から 2024 年の年齢別構成比の詳細データからは、15 歳から 29 歳の患者割合が増加していることがわかります（Fig.2）。また、多汗症治療患者の男女比については、全ての年齢グループにおいて男性よりも女性で 2 倍程度患者数が多いことが確認されました（Fig.省略）。

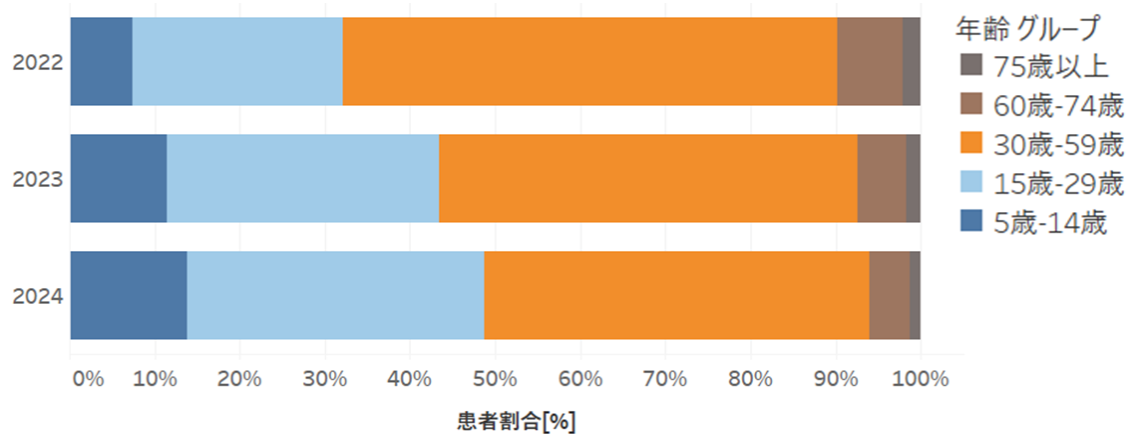


Fig.2 多汗症治療薬を処方された患者の年齢構成比

最後に、2023 年および 2024 年における各薬剤の年齢構成比を Fig.3 に示します。外円は各薬剤の使用割合、内円は各薬剤における年齢構成比を示しています。各薬剤の使用割合を比較すると、アポハイドの使用割合が 2023 年から 2024 年にかけて 12%増加し、使用率が最も高くなりました。年齢構成比に着目すると、アポハイドのみ 30 歳未満の処方割合が 30 歳以上の処方割合よりも高く、処方が拡大している年齢層が適応症間で異なることが明らかになりました。

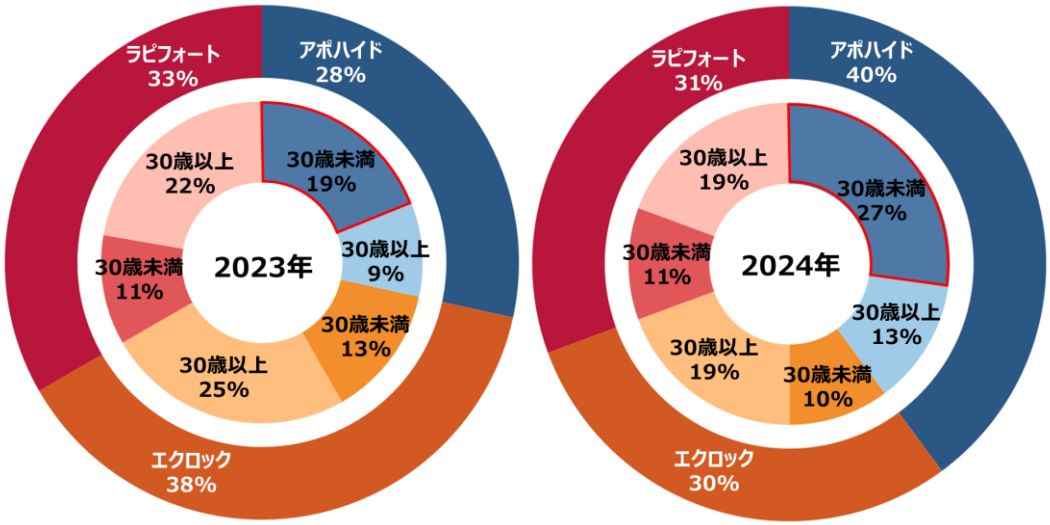


Fig.3　2023 年・2024 年における各薬剤の年齢構成比

今回、当社独自の月次処方データサービス RI-CORE を用いて多汗症治療薬の処方動向の分析を行い、その一例を紹介しました。日本医薬総合研究所では今後も、さまざまな薬効群の処方動向について分析を行い、発信してまいります。

Copyright © 株式会社日本医薬総合研究所 All Rights Reserved.

【RI-CORE について】 https://www.jpmedri.co.jp/service/medical_information/ri-core/
日々収集される調剤情報を月次または週次で集計、お客さまのニーズに応じてカスタマイズした多彩なテンプレートを作成、自在な分析機能により目的に合わせた分析結果を定期的にお届けいたします。

【株式会社日本医薬総合研究所について】 https://www.jpmedri.co.jp/
日本調剤グループ各社を通じて培った医療情報資源を基に、医薬業界の健全なる発展、成長に寄与し、国民生活の向上に資する価値ある情報サービスを提供するために 2012 年 1 月に発足しました。製薬・ヘルスケア企業、医療機関・保険者さま・保険薬局からのさまざまなニーズに応えるため、処方箋情報・レセプト情報をはじめとする各種医療ビッグデータを基盤に、「医療の質の向上」、「医療費の適正化」、「国民の健康寿命の延伸」といった日本全体の医療課題に貢献してまいります。

【日本調剤グループについて】 https://www.nicho.co.jp/brand/
日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という揺るぎない使命のもと、調剤薬局事業を中核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

【本レポートに関するお問い合わせ先】
株式会社日本医薬総合研究所
TEL：03-6810-0812　FAX：03-5288-8692
E-mail：soken-info@jpmedri.co.jp

本レポートに関わる無断での引用、転載及び複製は禁止します。
当社は、本レポートの内容および閲覧者が本レポートを通じて得る情報等について、その正確性、完全性、網羅性、有用性、最新性、適切性等、その内容について何ら法的保証をするものではありません
本レポートの閲覧者による、これらの情報の利用により、万一何らかの損害や不利益等が生じても、当社は一切の責任を負いません。

Copyright © 株式会社日本医薬総合研究所 All Rights Reserved.